

四万十 未来志向

清流四万十川を未来に残すために、私たちは自ら考え、行動しています。



住民の目から見た川づくりの提案

地域住民の目線で、河川敷の景観について検討しています。事業実施箇所の維持管理・利用に対する提案も行っています。

- 景観検討会
- アユの瀬づくり事業意見交換会
- アユの瀬づくり事業現地視察 など

川の環境改善に向けた実践

四万十川沿いに生息・生育する貴重種や絶滅危惧種を保護育成するため、草刈りや清掃活動などを行っています。



マイヅルテンナンショウ
(環境省と高知県の絶滅危惧種)
※四万十市入田地区は「高知県希少野生動物植物保護条例」で本種の保護区に指定されています。



- マイヅルテンナンショウの自生地草刈り、増殖活動
- 入田ヤナギ林一斉清掃
- トンボ池(ビオトープ)の清掃 など

四万十川自然再生事業の概要

国土交通省中村河川国道事務所が実施する「四万十川自然再生事業」とも協働・連携しています。

■ ツルの里づくり

湿地環境を再生・創出するとともに、ツルのえさとなる魚やエビなどが湿地や用水路に多くすめるよう、中筋川との間にある樋門の段差をなくし、ツルが安心して越冬できる環境づくりを進めています。



■ アユの瀬づくり

アユの産卵場となる瀬が広がる昔ながらの風景を再生するため、四万十川の入田地区で樹木や竹の伐採・間伐、土砂の除去、砂州の切り下げを行っています。

■ 魚のゆりかごづくり

アカメなど多くの魚の赤ちゃんが成長するコアマモ場や天然スジアオノリの生育場所など、四万十川河口の浅場を再生し、汽水域の豊かな環境を取り戻す取り組みを進めています。

大人の学びの機会の提供

地域の活性化に向け、四万十川の自然や文化を学ぶ機会を提供しています。

- 四万十川自然観察会
 - ・入田ヤナギ林内の植物観察
 - ・野鳥観察
 - ・河原の石の観察
 - ・河口汽水域の水際の観察
- 四万十川講演会・総会での記念講演(自然科学、文化的景観、震災対策) など



川の環境の保全や再生に向けた提案・活動を行い、人と自然が共生する川づくりを目指します。

川とのふれあい・学びを通じて、現在そして未来の四万十川の守り手を育てます。



地域住民の熱意とアイデアで、自然環境保全から未来のまちづくりへとつなげます。

未来を担う人材の育成

「四万十川の守り手」となる子どもたちを対象に、川に親しみを持ってもらうための取り組みを行っています。



- 水際探偵団 (川舟に乗って水中観察、カヌー清掃、干潟の生き物観察)
- 水中探偵団(シュノーケリング教室)
- 源流探偵団(スポーツ交流、源流踏査)
- 学校等を対象とした環境教育 など

川の文化の創出

地域住民の川への愛着心などから、新たな文化を生み出したいと考えています。

■ 四万十の水辺八十八カ所

地域住民おすすめの四万十川の見どころを「四国八十八カ所」にちなんで88地点選定し、標柱を立ててPRしています。水辺を巡るツアーも実施しています。



第6番「赤鉄橋」の標柱

まちづくり活動との協働・交流

地域内外の様々なまちづくり活動と協働・交流し、四万十川の環境保全と身近な自然の大切さを発信しています。

- 菜の花まつり
- 新春たこあげ大会
- ツルの里づくり(えさ場・ねぐら整備)
- 各種シンポジウム等
- 他地域の各種団体との意見交換会 など



ナベヅル

